

令和5年度事業報告

わーくさぽーと恵の杜(移行支援)

基本方針に対する 達成状況	地域での生活を目指し、一般就労、グループホーム等を利用しての自立した生活に向け支援をする中で、1名の一般就労者を送り出すことができた。個々の状況に配慮しながら、必要な支援を展開したが、目標につながらないまま退所となる利用者也4名ほど見られた。事業所の形態変更により大きな変化があり、今後は新しい環境での支援展開が必要となる。
重点項目に対する 達成状況	感染症対策については、老健恵の杜の基準をもとに対策を継続。研修や情報交換などを積極的に図るが、利用者・職員ともに年間5名程度、感染者が出た。 ・ 個々のニーズや状況に即した支援を行っているが、能力や状況に応じた対応を行う中で、利用者に十分な理解を得られないまま展開し、望む結果につながらないことも見られた。 ・職員個々の特徴や発想をもとに支援を展開する手法をとる中で、個々の知識や支援に必要な能力は向上したが、それが難しい職員が困惑する状況もあった。
稼働目標に対する 達成状況	・年間平均6.1人の利用となり、前年よりは向上も事業計画内の目標には届かず。精神障害のある利用者に対し、安定した通所に向けた支援を提供するためには、専門的な知識やプログラムなどの構造の変更が必要と思われる。
予算執行状況	・人件費については、年間を通じて退職者が無かったことで、想定通りの予算を執行できた。稼働率が下回ったことによる収入の減少と物価高騰他の理由による、必要経費の価格上昇があり、清掃等就労支援事業も含めた経費については上昇している。
事業およびサービス 目標に対する達成 状況	・一般就労の人数については目標よりも少ない1名の就労者にとどまる。 ・ 支援に関する研修については積極的に参加することで、必要な知識を適切に得ることができた。 ・就労者の定着については本人や企業の状況に合わせて適宜対応したことで年間を通じて離職者を出すことなく支援を展開できた。また、企業等からの信頼も高まり、求人の追加募集や就労に向けた実習の案内も企業側から行われる機会も増えた。 ・令和4年度終盤から、今年度序盤にかけては登録者数が9名と上昇したが、通所率の向上や、登録者数の安定につなげられず、訓練プログラムの展開や稼働、就労者数の人数の増加につなげることができなかった。
その他事業計画に 対する達成状況	虐待防止、ハラスメント、事業継続計画などの法定の研修や訓練については、計画の想定通りに実施することができた。そのなかで、事業継続計画については、実際の災害時・非常時に対応しうるものかについては、検証を続ける必要がある。事業所の新体制の開始に伴い、事業所の状況に合わせ、機能する計画作成・実行すること。スタッフ間の理解の共有を図る必要がある。

月平均稼働

月	定員	稼働目標	稼働実績	備考欄
4月	10人	114人	139人	稼働目標 計画作成当初6名で計算
5月	10人	102人	163人	稼働目標 計画作成当初6名で計算
6月	10人	132人	176人	稼働目標 計画作成当初6名で計算
7月	10人	114人	134人	稼働目標 計画作成当初6名で計算
8月	10人	126人	136人	稼働目標 計画作成当初6名で計算
9月	10人	108人	134人	稼働目標 計画作成当初6名で計算
10月	10人	120人	135人	稼働目標 計画作成当初6名で計算
11月	10人	108人	117人	稼働目標 計画作成当初6名で計算
12月	10人	102人	99人	稼働目標 計画作成当初6名で計算
1月	10人	114人	94人	稼働目標 計画作成当初6名で計算
2月	10人	114人	82人	稼働目標 計画作成当初6名で計算
3月	10人	114人	58人	稼働目標 計画作成当初6名で計算

利用者別の内訳

月	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	その他	備考	合計
4月	4	1	2	1					8
5月	6	1	2	1					10
6月	6	1	2	1					10
7月	6	1	2	1					10
8月	4	1	2	1					8
9月	5	1	2	1					9
10月	4	1	2	1					8
11月	4	1	2	1					8
12月	3	1	1	1					6
1月	3	1	1	1					6
2月	3	1	1	1					6
3月	3	1	1	1					6

年間行事等の報告

4月	個人情報保護研修
5月	基本報酬・勉強会
6月	虐待防止研修（法令）
7月	ヒヤリハット 事故検討会
8月	就労支援研修
9月	防災関係勉強会・避難訓練
10月	避難訓練
11月	虐待防止勉強会
12月	
1月	
2月	
3月	BCP勉強会・避難訓練